

令和5年度第2回運営委員会 議事概要（案）

- ・開催日時 令和5年3月9日（木）13時30分～15時30分
- ・出席者 運営委員・・・・・・・・12名出席（欠席委員：3委員）
 ウィズセンター・・・所長、次長、副参事、情報交流員
 男女共同参画青少年課・・・欠席

議事	概要
<p>1 開会</p> <p>2 委員の紹介</p> <p>3 議事</p> <p>(1) 令和4年度事業の実施状況、その他について [質疑等]</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>委員</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p>	<p>ウィズセンター説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNSによる情報発信のところで、878回発信ということだが、どのような内容の情報を発信したのかとその効果がどうかを教えてください。また予算はいくらか。 ・男女共同参画青少年課のホームページでDVのセルフチェックをクリックしたものが1,470件、相談電話番号の案内まで御覧になった方が204件、国のチャットのコーナーまでクリックした方が102件、確実にSNS経由でウィズセンターの相談までたどり着いたのは、3件であった。 ・予算は220万円である。 ・講座をする際に、男性、女性の別、年代、居住地等の調査を、アンケートや申込時に聞いた方が良い。成果を数値で示すことが必要なので、どんどんデータを集めていただきたい。 ・これからも属性等を把握し、男女共同参画の裾野を広げ、多くの方に参加していただくためにどうしたらいいかを考えて事業を進めていきたい。 ・私は、「資質向上・連携支援事業」の講師選定から当日の運営を行った。各回ごとにアンケートを取り、専門家的な分析は行っていないが、データは集めている。この資質向上の5回の研修会については、レジュメ、アンケート、講座生の感想、成果がどうであったかを含めた報告集の冊子をしっかりまとめていく予定だ。 ・「10 男性の家庭生活への参画促進講座」については、広報はどのようにしたのか。参加者数が割と少ないのが気になるのと、特に男性の参画促進を目指している割には、男性の参加が少ないのが気になる。 ・まずチラシを作成し、それを関係機関に配るとともに、ホームページに

議事	概要
委員	<p>もそのチラシを元に事業の内容について掲載した。</p> <p>それから、ウィズセンターにはフェイスブックとツイッターという情報発信ツールがあるので、そちらに、適時適切なタイミングで掲載した。また、リクエスト上映会も実施したが、それについても同じような情報発信ツールで広報を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> 委員のおっしゃるようできるだけ、多くの方に見ていただきたいと考えており、これまでの紙媒体だと、本当に情報が届く範囲が限られるため、先ほど申し上げたSNSというツールを利用し、いかに多くの方に見ていただけるかについて、いろいろな方法を探していきたい。 男女が共に活躍することを目指す際に、家庭のことが非常に重要になってくる。育児等に男性が関与するのは非常に大切だが、そのうち「介護」というのが注目される。 <p>しかし、このウィズセンターの事業計画の中には、「介護」というのが出てこないため、取り上げたほうが良い。</p>
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> 「介護：ケアする者は誰か」という問題が色々な場面で存在する。今年度、災害現場における男女共同参画の在り方をゼミナールで取り上げた。通常、ケアする者が女性に偏る傾向があり、災害時にはやはり女性のほうが仕事を辞めざるを得ないような場面が出てくる。そういうことがないように、ケアする者は誰か、女性に限らず、誰がケアしていくか。意識改革や、アンコンシャス・バイアスという意味で、これからも取り上げていきたい。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進月間行事の講演会で、男性介護者の方（岡野雄一さん）の講演で『ペコロスの母に会いに行く』という漫画を描かれている方の講演会を行うなど、以前から取り組んできた。今後も、男性のための講演会で介護をテーマとしたものに取り組んでいきたい。
委員	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍のため、フェース・ツー・フェース、リアルな集まりの場がなくなって非常に残念だ。実際にその場で話を聞くのと、画面を通して聞くのとでは臨場感に欠けると思う。その場に参集していないため、情報や感想など参加者同士で共有できないというマイナス部分がある。出前講座もリアルな集まりでやっていく方向も考えてはどうか。 「ネットワークづくりの講演会」は非常にいい。フォローアップ事業にも力を入れていかれるということで、安心した。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> フェース・ツー・フェースで実際に近くで話をすれば分かり合えるものが必ずあるので、オンライン配信だけでなく対象者や地域、内容によって、直接話ができる機会を設けていきたい。また、地域ごとの「ネットワークづくり」のきっかけを設けることを考えており、県内各地域で小さい集団を作っていただき、地域で活動を進め、さらにその団体がウィズセンターの登録団体として名前を連ねていただけるよう、ご意見を参考に組み

議事	概要
委員	<p>たい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィズセンターの来年度の事業の目的は、基本的にウィズプランの実現だと思うが、例えば、ウィズプランは、ウィズセンターや男女参画青少年課がやっている事業の3割を男性にということを目指しているが、現状は何割かということが出ていないと、来年度こういう講座をした場合、もっと男性向けのものを入れていこうというチェックも提案もできない。 例えば、昨年度からの数値と比較できるようにする資料でないと、コメントやチェックができない。
ウィズセンター	<p>「12 利用状況」は、1月末現在の数字で、全体の合計数値である。館内利用計で、総利用者数が1万676人、うち男性利用者数が2,430人で、割合で言うと22.8%。これは今年度の1月末現在の数字だ。ちなみに、令和4年3月末時点の総利用者数の数字が1万1,132人、うち男性利用者数は2,081人、パーセントで言うと18.7%であった。従って、18.7%から22.8%と上がっている実績である。昨今では男性向けにオンライン講座等の事業を展開している。</p>
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で毎月1回映画のつどいというものがあるが、「映画のつどい」を設ける目的と映画の選定理由みたいなものは何か。あと「サロンイベント」というのを同時開催されているのかをお伺いしたい。親子で楽しめるような映画であったり、もうちょっと人を集客できるようなものがないのではないかと。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・映画のつどいで、参加を呼び掛け、ウィズセンターの場所を知っていただく。その便に情報コーナーに立ち寄っていただいて、ウィズセンターについて認識を深めてもらうために始めたものである。映画の選定は、男女共同参画に関するテーマのものを取り上げ、男女共同参画意識を高めていただく。 ・「サロンイベント」は、コロナ禍で、令和2年以前は映画のつどいだけだったが、令和元年、2年あたりはセンターを閉じる期間も長くて、その後、中々ウィズセンターにも人が集まってこないような状況が続いたため、呼び水になるようなものはないかということで、サロンイベントも併せて開催した。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・毎年、「ジェンダーギャップ指数」というのを、どこかの団体の冊子や新聞等で見ると、日本は政治の分野で非常に女性の進出が遅れている。政治の世界に女性がどんどん進出することが男女共同参画の推進にも役立つので、女性の方が政治家になることを後押しするような講座、講演をやってみてはどうか。
ウィズセンター	<ul style="list-style-type: none"> ・女性議員の割合は、少ない状態であることは認識している。今年度は事業に具体的に取り入れてはいないが、政治の現場など意思決定権を持った組織の中に女性が参画するのは、女性が過ごしやすい場所づくりのためにも、是非必要なので、今後、どのように取り組むか考えたい。

議事	概要
<p>各委員</p> <p>委員</p> <p>ウィズセンター</p> <p>4 閉会</p>	<p>改選に伴い最後の委員会となるため、各委員が最後に一言ずつ御挨拶、コメント及び感想を発言。</p> <p>・最後になった。この委員会ができたときから、この委員会のメンバーとして24年出席させていただいた。その間、人が性差を超えてともに歩くというのがいかに難しいかということをよく勉強させていただいた。委員は今期をもって終わらせていただく。これからは、私の人生の中でこの委員会で皆さんに教わったことを生かして、元気に前向きに歩んでいきたい。本当にありがとうございました。</p> <p>・ウィズセンター設立当初から運営に携わってこられた委員が、今年度でご勇退される。委員には、平成11年度から24年間、男女共同参画の推進に向けて御尽力いただき、当センターの運営について開所当初からアドバイスを賜った。また、事業実施にあたっては、多大なるご協力をこれまでいただき、心から感謝している。令和元年には、男女共同参画社会づくり功労者ということで、内閣総理大臣表彰を受賞されている。長年にわたり、女性活躍社会の実現に取り組まれた委員のご功績の証であり、本当に心から敬意を表したい。</p> <p>また、長年運営員会の委員として、ウィズセンターの運営にそれぞれのお立場から適時、適切なアドバイスをいただいた委員3名が、今回でご勇退される。これまでのご指導本当に感謝申し上げます。</p> <p>多くの委員の方が言われたが、男女共同参画社会の実現に向けてはまだまだ道半ばで、課題も山積している。今後もどうかウィズセンターの取り組みをお見守りいただき、ご提言をいただければ幸いです。委員の皆さま、本当にありがとうございました。</p>